

英語を楽しく

No. 135
9, November

☆ちょっと知っているだけで、話す英語が広がる

◇言いたいことを強調するために

① do を使って

Do sit down, please.

ぜひとも、座ってください。

Do be quiet.

どうか、静かにしてください。

I do believe her.

彼女を信じているんだ!

Do you believe UFO?



I do believe UFO.



② very を使って

This is the very book I've been looking for.

これは、私が探していたまさにその本だ。

③ 再帰代名詞 myself/yourself/himself/herself などを使って

The prime minister himself gave his secretary a call about the plan.

首相が、自分の秘書にその計画について電話をした。

[himself で 首相を強調]

④ 疑問文を強調する on the earth / in the world を使って

What on the earth/またはin the world are you doing there ?

一体全体、君はそこで何をしているのか?

⑤ [会話において]

声の調子(強調したい部分を大きな声で言うこと)で自分の気持ちを強調することが最も簡単。

[文書において]

自分の気持ちを強く表現する所だけ 斜体文字を使うのが最も簡単。

例、The movie *Titanic* has gathered a large audience.

☆ アメリカに入ってきた外国語

日本に多くの言葉が外国から入ってきていますが、アメリカだって同じ、どんな言葉が入ってきているのでしょうか。下記の単語の内、アメリカに入ってきた単語は?

答えは No. 135 で

- ① age-時代 ② royal-王の ③ mount- 登る ④ purchase - 買う
⑤ infant-子供 ⑥ chair-椅子 ⑦ marriage-結婚 ⑧ epoch-時代
⑨ regal-王の ⑩ ascend-登る

日本にカタカナ英語(ばかりとは限りませんが)が、戦後、アメリカとの関係が深くなることで多量に伝わっていますが、1単語に一つの訳しか与えていない傾向にあります。(例 room = 部屋) そのため単語本来の意義を十分知り得ず、英語会話に使われない傾向があります。大変惜しいことと思います。

room は、部屋という訳の他に、場所・余地・可能性・空間・[集合的に] 部屋にいる人々 などの訳があります。

部屋にいる人々 = the room

Yoshi